



山口育児院だより

編集・発行 / 社会福祉法人 山口育児院 2017.5.第36号
 〒753-0082 山口市水の上町5-27 Tel 083-922-1027 Fax 083-922-2389
 e-mail y-ikuji@estate.ocn.ne.jp URL http://y-ikuji.sakura.ne.jp/

平成29年度がスタートしました。今年桜の開花が例年より少し遅くなったおかげで、子ども達の入学式の頃に満開となりました。自然が新しい門出を祝ってくれているかのようで、素晴らしいスタートを切ることができました。日本には四季があり、それぞれに趣深いものがありますが、やはり日本人にとって春は特別な季節です。一年の始まりは1月よりも4月という意識の方が強いのではないのでしょうか。寒い冬から暖かい春になり、気持ちも前向きになつたところで新しい生活が始まる。社会の仕組みもよくできていると思えます。

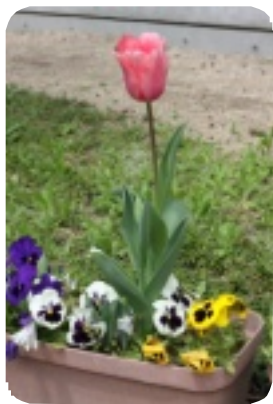


「こころ新たに」 百花春至為誰開

失っているような気がします。それでもちよつと足を止めて静かに花を見つめると、こころが安らぐという人も多いのではないかと思います。なぜ花を見ると穏やかな気持ちになるのでしょうか。春の花に関して次のような言葉があります。

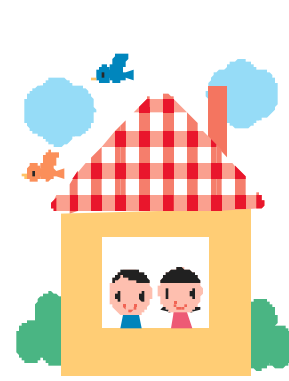
百花春至為誰開
 (ひやつかはるいたつて たがためにかひらく)

花は一体誰の為に咲くのでしょうか。花が咲くのは誰の為でもなく、何の為でもありません。そういった計らいは全くなく、自分の全生命を無心に表出して、「ただ」咲いているのです。何の計算もなく「ただ無心」に咲いているからこそ、その姿が我々を楽しませ、勇気づけてくれ、慰めてくれ、さらには生き方を教えてくれるのだと思います。そして無心で咲くが故に、花自身は何一つ自らを誇ることはありません。



春は毎年やってきます。さて、自分はその春に何を感じているのか。ただ何となく過ごしているだけではないのか。花はたくさんのかことを教えてくれているが、それに気付くこころを持っているだろうか。春を迎える度に自分自身を振り返り、反省し、そしてこころ新たにスタートする。そのきっかけにすることが大切だと思います。人間には誰しも欲がありますが、花を見て、その欲だらけの自分を恥ずかしく思う。そういう謙羞(はじをしる)のこころを忘れてはなりません。

私欲に溺れることなく、虚心に精進してまいりたいと思いますので、今年度もどうぞ宜しくお願いいたします。



平成二十八年度決算報告は次の通りです。今後とも宜しくお願い申し上げます。

事業活動による収支	本部		施設	
	収入	支出	収入	支出
措置費収入	0		145,209,204	
その他の事業収入	0		930,810	
経常経費寄附金収入	245,100		934,886	
受取利息配当金収入	70,228		585,757	
その他の収入	20,000		1,411,632	
経常収入計	335,328		149,072,289	
人件費支出	115,000		94,310,177	
事務費支出	382,819		4,265,108	
事業費支出	0		24,755,862	
その他の支出	0		689,483	
経理区分間繰入金支出	0		0	
経常支出計	497,819		124,020,630	
経常活動資金収支差額	-162,491		25,051,659	
施設整備等補助金収入	0		1,969,496	
固定資産売却収入	0		0	
施設整備等収入計	0		1,969,496	
設備資金借入金元金償還支出	0		1,320,000	
固定資産取得支出	0		795,238	
施設整備等支出計	0		2,115,238	
施設整備等資金収支差額	0		-145,742	
積立資産取崩収入	0		0	
その他の活動による収入	252,164		329,514	
財務収入計	252,164		329,514	
積立資産支出	0		13,222,575	
その他の活動による支出	0		592,831	
その他の活動支出計	0		13,815,406	
財務活動による収支差額	252,164		-13,485,892	
当期資金収支差額合計	89,673		11,420,025	

資産の部		負債の部	
流動資産	32,409,135	流動負債	3,574,527
固定資産	243,906,708	固定負債	17,702,544
基本財産	137,199,764	負債の部合計	21,277,071
その他の固定資産	106,706,944	純資産の部	
		基本金	61,852,105
		国庫補助金等特別積立金	106,377,097
		その他	86,000,000
		次期繰越活動収支差額	809,570
		純資産の部合計	255,038,772
資産の部合計	276,315,843	負債及び純資産の部合計	276,315,843

「歩々清風」

今年の上半期が過ぎようとしています。流行語大賞の候補と言われている「忖度」という言葉が世間を賑わせています。政治の世界で使われることが多いのですが、何となく悪いイメージの言葉になってしまっています。しかし、本来忖度とは、「相手のことをおしはかること」です。決して悪いことだけではありません。

一方で、我々が普段何気なく使っている「心配」という言葉があります。これは本来「こころを配る」ことです。心配りが足りないがためにトラブルになることは少なくありません。そういう意味では、心配は大いにしないといけません。

情報過多な現代に於いて、何事も正しい意味を知ることとはとても大切なことです。周りの意見に惑わされずに、正しくものを見る目を養いましょう。

(T)



案内

育児院では、地域の方々に施設を利用していただく為に、いろいろなサービスを実施しています。

トワイライトサービス
 仕事の関係で帰宅が夜間になる方、お子さんの下校時より仕事終了時迄お預かり致します。

短期入所サービス
 病気、事故、出産等でお子さんの養育が難しくなった時等、短期間お預かり致します。

当院をご利用ご希望の方はお気軽にご連絡下さい。又ボランティアの受け入れもしております。

福祉に関心のある方、是非一度ご来院下さい。

御案内



「愛」と「慈悲」 その根底を貫くもの ～縁の有り難さ～

武重俊之

4月17日、大分県別府市にある児童養護施設「光の園」の施設内研修に参加させて頂きました。

施設長の松永忠先生とのご縁は、昨年の山口県児童入所施設連絡協議会の研修会に講師をお願いしたのが始まりです。その研修会後には山口育児院にお越し頂いており、施設をご案内して、そこで山口育児院の理念である円相と理念についてお話をさせて頂きました。山口育児院の理念は「こころ慈・和・直」と言いますが、その考えに対して深い理解と共感を頂き、「円相」を光の園の子ども達の為に書いて欲しいと頼まれました。しかし、「円相」とはただ単に毛筆で正円を描けば良いというものではありません。そこに「仏心」が現れていなければならず、簡単に書けるものではないのです。その時は書くことをお引き受けしたものの、後に、さて一体どうしようかなと、勢いの怖さと猛烈な後悔が襲って来ました。それでも一度お引き受けした以上とにかく精一杯書かせて頂くしかないと思い、何とか書きあげて今年の1月にお送りいたしました。後日、早速に額装して施設内に飾って下さっている写真を送って頂き、恥ずかしさともったいなさで大変恐縮した次第です。果たしてその未熟な円相に「仏心」が現れて

いるのかどうか。それは光の園の皆さんに判断して頂くしかありません。「円相」を書いたのは初めてでしたが、本当に良い経験をさせて頂きました。

松永先生とのそのような取り合いがあつて今回施設内研修にお誘いを頂いたわけですが、光の園には昨年の山口での研修会の打ち合わせで一度お伺いしており、今回が2度目の訪問となりました。今回の研修会では約1時間ほど「円相と福祉のこころ」「こころ慈・和・直」というテーマでお話をさせて頂きました。元来人前で話をするのが苦手なのですが、話をすると決まった時に先年亡くなった師匠の言葉を思い出しました。「頑石點頭すという言葉があるように、わしの話聞いてくれるものが誰もいなくても構わん。一心に話しておれば、いつか傍の石が頷いてくれるかもしれん。布教というのはそこまで徹底することが大切じゃ」というものです。話の巧拙が問題なのではなく、一心に取り組むことが何より大切なことであると信じて、お話をさせて頂きました。有難いことに、光の園の職員の皆さんは本当に熱心に聞いて下さり、果たして役に立ったのかどうかは分かりませんが、自分としてはとても良い時間を過ごさせて頂いたと感謝しております。

光の園はカトリックの精神が根底にあり、「敬天・如己・慈愛」の三つのこころを理念としていると伺いました。山口育児院の理念も同様に「慈・和・直」の三つのこころです。キリスト教と仏教。形は違えどもその根底を貫くものは「一」であると強く感じることができました。

光の園の皆さんには本当に温かく迎えて頂きました。松永先生とのご縁。そして光の園の皆さんとのご縁。それは決して特別な働きかけや計算があつたわけではありません。「大いなるものに導かれて」とでも言いましょうか。これはまさしく「ご縁」です。この有り難いご縁を未永く大切にして行きたいと思えます。本当にありがとうございました。



3年ぶりの東鳳山、無事登頂！



4月29日、東鳳山に登りました。毎年ゴールデンウィーク頃に行う恒例の行事なのですが、ここ数年は雨等の悪天候の為中止が続いていました。その為、児童にも職員にも、初めての者が大勢いる中での登山です。

午前8時30分、出発式をして育児院を出発しました。育児院から登山口までも歩きます。約1時間かけて一の坂グラウンドに到着。そこで小休止して、いよいよ登山開始です。頂上までは約1時間30

分の予定ですが、早い子は1時間で登ってしまいます。しかし小学生低学年の子は今回が初めての登山なので、前の日から不安で一杯だったようです。

「途中でうこしたくなったらどうするん？」

山にトイレが無いことは分かつ



ファイト！

大殿地区大運動会！

ているようで、本気で心配してました。確かに大問題です(笑)。それでも何とか無事に皆頂上まで登り切ることができました。山頂でお弁当を食べて、記念写真を撮りました。さあこれから下山です。とりあえず一の坂グラウンドまで降りて、そこからさらに育児院まで歩いて帰ります。昔でいう鍛錬遠足のようなものですが、やはり子ども達は元気です。4月とはいえ夏を思わせるような暑さの中、みんな本当によく頑張りました！

5月14日、大殿地区大運動会が開催されました。当日は快晴で、子ども達はみんな大ハッスルしました。

少子化の影響で、毎年出場できる競技は限られてしまっていますが、今年は7種目に参加しました。

- こども徒競走
町内対抗ごまり
町内対抗台風の目

お母さんありがとう
幼児徒競争
町内対抗つなひき
じゃんけん大殿チャンピオン

以上の7つです。
普段は育児院の子ども達同士で遊ぶことがほとんどですが、この日は日頃お世話になっている町内会の皆さんと一緒に楽しめます。また、お昼も皆で同じお弁当を食

べることができ、子ども達の余所行きの顔ではなく、やんちゃな部分も含めて素の様子を見て頂けたのではないのでしょうか。

ニユースでは保育園建設に地元住民が反対したという話もありますが、子ども達が安心安全に生活するには地域の皆さんの御理解や御協力が不可欠です。そういう意味では、育児院の子ども達は本当に恵まれていると思います。暑い日差しの下、顔を真っ赤にしながら元気に楽しく過ごせた一日でした。

地域の皆さん、お世話になり本当にありがとうございました。

